



安全への念い

平素よりJR九州をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年度当社は、連結子会社であるJR九州高速船株式会社の船舶事業撤退を決議しました。クイーンビートルの運航再開に向けて、安全管理体制の見直しや安全意識醸成等の取り組みの推進、ハード対策を検討してまいりましたが、ハード対策を施しても船体へのクラック発生のリスクを完全に払拭できないことが判明し、運航再開のための確実な安全が担保できないと判断したためです。クイーンビートルの運航再開をお待ちいただいたお客さま、運航再開に向けてご協力いただいた皆さま、長年にわたりJR九州高速船株式会社の日韓航路等を支えてくださった皆さまに深くお詫び申し上げます。

JR九州グループは、2025年に新たなJR九州グループ経営理念を掲げました。私たちは、「誠実」「共創」「挑戦」の3つの「おこない」を常に大切にし、「安全を最優先し、お客さま視点で考え、安全で快適な毎日と“わくわく”するときをつくる」という「使命」を積み重ねることにより、「九州の元気を、世界へ」という「わたしたちの夢」を実現してまいります。また、JR九州グループ中期経営計画2025－2027を策定し、安全やお客さま満足、まちづくりといった当社グループの事業の側面と、人材戦略や環境・法令遵守も含めたガバナンス等の経営基盤に関わる5つのマテリアティを再整理し、経営理念の実現に向けて挑戦してまいります。

当社では2023年から“ゆるぎなき安全”を実現するための3ヵ年計画である「安全中期計画2023－2025」に取り組んでいます。本計画では安全をつくる仕組みとして、以下の「安全の方程式」を示しています。

$$(\text{知っている事} + \text{出来る事}) \times \text{熱意} = \text{安全}$$

「安全の方程式」は、「安全をつくるのは知識や技能だけではない。熱意が『ゼロ』なら安全は『ゼロ』、熱意が2倍なら安全は2倍。それだけ『熱意』が重要である」ということを表しており、この仕組みを基本としながらゆるぎなき安全を実現するための取り組みを展開しています。本計画で新たな着眼点としている「4つの『安全の見える化』※1と4つの『力』※2の強化」も普及と深度化が進んでおり、過去からのルール見直しや発生事象の根本要因の特定、新技術の活用等の様々な取り組みが展開されています。今年度が、本計画の最終年度であり、更なる取り組みの推進により、“ゆるぎなき安全”を確かなものにしてまいります。

今後も皆さまのご理解とご協力を賜りながら、新たな経営理念である「九州の元気を、世界へ」という「わたしたちの夢」の実現のために、まちとまち、まちと人、人と人をつなげるネットワークづくりにより”わくわく”するときをつくり出し、安全で安心な鉄道の提供のために、JR九州グループ一丸となって尽力してまいります。

この報告書は、鉄道事業法第19条第4項に基づき、2024年度におけるJR九州グループの鉄道の輸送の安全への取り組みを、皆さまにご報告するものです。是非ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

(※1…要因の見える化・効果の見える化・特性の見える化・ルールの見える化 ※2…個の力・グループの力・気づく力・異常時対応力)

九州旅客鉄道株式会社
代表取締役社長執行役員

古宮 洋二